

景観推進計画地域意見交換会実施結果概要

1. 実施日時 平成20年8月18日～平成20年8月26日(8月20日を除く)
2. 会場 市内コミュニティセンター、文化センター、市役所 計12会場
3. 参加者数 合計188名
4. 目的 海老名市の景観施策への取組み状況の経過説明と、今後の計画作りにあたり、景観に関する意見を得ることを目的としました。

5. 主な意見

◆市の方針などについて

具体的な方針を示し、市役所全体で取り組んでほしい。
将来のまちづくりを考え、他の計画との課題とつながりを持たせてほしい。
環境問題とも連携を。
公共から率先してやるべきだが、市民からの提案も必要。
あまりお金はかけないでほしい。
残したい景観は守り、新たに開発などで生まれる景観は良いものにしたい。
できることから少しずつ変えて行きたい。

◆景観条例について

まずは緩やかに大きい建物から規制を。
建築基準法や都市計画法と連携した規制を考えてほしい。
実際の運用がどうなるか、わからない。

◆地域の景観ルール作りについて

ルール作りの範囲や規制の種類がわかるようにしてほしい。
住民の活動についてうまく支援してほしい。
ルール作りについては慎重かつ柔軟な対応を望む。

◆意見交換会について

結果を公表してほしい。
市の方針をまとめてからまた行ってほしい。

◆景観に関する規制について

建物の高さ制限ができないか。
色彩の制限はあまり厳しくないものにしてほしい。



◆守りたい景観

丹沢大山、富士山のながめと空の広さ
水田、九里の土手の緑
古墳群や国分寺跡、社寺など歴史的なもの
横須賀水道道
河川や堤防の土手



◆なんとかしたい景観

海老名駅前、厚木駅前のまちなみをよくしたい（遊戯施設のネオン、看板、建物の色、道路など）。
相模川沿い、永池川のごみの投棄

◆景観に関する課題

緑、樹木の保全・管理
電線地中化などの工夫
道路など公共物について景観に配慮する。
ごみ集積所の工夫
住宅地は景観に配慮し質を守りたい。
さがみ縦貫道路周辺が景観上悪くならないようにしたい。
景観の啓発活動が必要
派手な看板の抑制

6. まとめ

各会場とも10名以上の参加をいただき、さまざまなご意見をいただきました。景観推進計画、景観条例の策定についてはおおむね肯定的な意見でしたが、景観施策に関し比較的関心が高い方の参加が多かったものと思われます。

市の景観に対する方針を明確にし、計画を年単位ではっきりさせるべき、との意見があり、計画策定にあたり留意します。

地域ルールについては作りたいという意見も多くいただきましたが、地域により内容等が異なりました。国分北・上今泉・国分寺台・浜田町については住宅地として、大谷、杉久保、社家、今里では緑・水田・九里の土手などの保全について、門沢橋、中野、河原口等では河川敷への関心が高く、国分南では国分寺跡を中心とした歴史的景観について考慮したいという意見が目立ちました。

このほか、電線地中化、ラブホテルの規制を望む意見が多くみられました。